

## 第四十六期生

### 令和三年入学式 式辞

三月末から美しい花を咲かせていた桜が、姿を変えて、美しい緑の若葉を広げています。

満開の桜も大変美しいですが、薄緑色の葉が広がっている様子も大変美しいです。考えてみれば、これから太陽の光をいっぱい浴びて、桜の木全体に栄養をいきわたらせる若葉こそが、みなさんの入学式にはよりふさわしいのかもしれない。新入生の皆さん、改めてご入学おめでとうございます。

この良き日に、令和三年度河内長野市立西中学校、第四十四回入学式を挙行いたしましたところ、多くの保護者の皆さんや教職員が見守る中、この入学式を挙行できますことに、深く感謝し、厚くお礼申し上げます。

この西中学校区は自然に恵まれ、非常に環境が良く、地域の方々も、河内長野でも群を抜いて、大変温かく、協力的で、自慢できる地域だと思っています。私はこの

西中学校に赴任して三年目、校長として二年目を迎えます。この間、幾度となく地域の皆さまや保護者の皆さまに支えられてここまでやってまいりました。そのおかげもあって、昨年度の生徒向けの学校教育自己診断のアンケートでは「学校へ行くのが楽しい」という項目では、過去五年間で最高の数値となりました。

ただ今、五十二名の新入生の皆さんを、この西中学校にお迎えして、新生西中学校が船出します。学校というところは与えられる場所ではありません。みんなが作っていく場所です。より一段と、「学校へ行くのが楽しい」と思ってもらえる学校にするために、一人一人がどのように生活することとが大事か、みんなですっかり考えて行動してほしいと思っています。

たとえば、自分自身は学校に行くのが楽しいと思っても、周りの人は学校に行くことを楽しいと思っているかどうかかわりません。誰もが楽しいと思える学校にするためには、自分の気持ちと共に、周りの人の気持ちも考えられるようにならない

といけません。互いを大切にする心があれば、きっと学校が楽しいと思える人の数は増えると思います。

中学校での生活は、小学校と違うところがある。いくつかあります。まず、授業形態が違います。小学校でもいくつかの教科は、担任外の先生が、教えていました。が、中学校は教科により担当する先生がすべて変わります。いろいろな先生の授業を受けることができます。いろいろな先生方から様々なことを学ぶ中で、みなさんの知識や心には幅や奥行きがうまれます。

また、中学校には、部活動、いわゆるクラブ活動があります。三年間続けるクラブなので、十分考えて決めてほしいです。楽しいこと、うれしいこと、悲しいこと、つらいことを共に味わうことにより、連帯感や達成感、充実感を味わい、一生の友を得ることにもなるでしょう。そういう意味では、中学校生活において大きなウエイトを占めることになります。

また、中学校では、小学校より、集団を意識して行動することが多くなります。

問題が生じたときも、一人で考えるのではなく、学級みんなで解決策を探すことが多いくなります。行事の取り組みも、学級学年単位で行うことが多くなります。取り組みの中では、仲間同士意見がぶつかり合うこともあります。しかしそのぶつかり合いや協力の中にこそ個々の成長があると思っ  
ています。良い意味の成長を期待します。

また、一人一人の責任感が求められます。たとえば、小学校のときは、今日はこの国語の宿題をやってきたさいと、課題を小分けしてもらっていたと思いますが、中学校では、次の中間テストまでの宿題はここからここまですと課題が出されます。その課題を、毎日ここまでするというように自分で計画を立てて進めていくことが求められます。つまり見通しを持った計画性と、着実に実行する努力がもとめられているのです。

本日お集りの保護者のみなさま。お子様のご入学心からお喜びいたします。三年間の中では、時には子育てのことでお悩みになるケースや学校の対応に疑問を感じる

ケースもあると思います。そういう場合は、本校職員に遠慮なくご相談ください。良い解決策を見出すために、学校も精いっぱい努力をさせていただきます。

新入生のみなさん。新緑の葉っぱである君たちが、太陽の光をいっぱいに浴び、河内長野のおいしい水や空気を吸い、立派に成長してくれることを期待しています。そして三年後の春には、大きく育った桜の木に満開の花を咲かせてください。

令和三年四月六日

河内長野市立西中学校

校長 松原澄規